

# TOP INTERVIEW

有創己ゆうそうぎが運営する「創己ゼミ」(中央区矢部)

は、知識を詰め込ませるよりも、生徒一人一人のやる気を引き出すことに重点を置きます。教室で先生が一方的に教えるようなスタイルではありません。教室にはさまざまな学年の生徒が混在し、自習室に近い雰囲気といえます。ただ、それぞれが目標を持って自分で学習しています。先生は勉強を教え込むのではなく、分からないかったり、間違えたりしたときのヒントを与えます。そうすることで「考える力」を身に付け、自立して学習できるようになることを目指します。勉強嫌い、やる気が出ない、勉強の方法が分からない……。そうした悩みを持った生徒、そして親と真摯に向き合ってサポートしていきます。代表取締役の山口博久さんに聞きました。

「独特のやり方で教室を運営されています。」

「そうですね。コーチングとカウンセリングの技術をベースに、生徒一人一人の性格や気質、今の学力

などに合わせて指導しています。

先生が一方的な発信をするような学習塾ではありません。むしろスポーツジムの運営に近いです。それぞれが目標を設定し、達成するための毎回の練習メニューを組みます。私(監督)や先生(コーチ)は達成までの作戦を立てます。生徒がメニューを早く終えられれば、その分早く帰宅できます。また、発達障害や不登校の生徒も積極的に受け入れています」

「とはいえ、スポーツと同じで、生徒にもコンディショニングや波があります。だからまず、その日の生徒の調子を見極めます。調子が悪い生徒に勉強のことはかり話すのはナンセンスです。話を聞いたり、雑談したりしてガス抜きしてもらいます。話せる人がいて、聞いてくれて、共感してくれる。それだけで救われたりします。それから勉強を始めると、明らかに違います」

「合格実績などを前面に出していません。」

「多くの学習塾では、有名大学への合格率を宣伝に使います。確かに分かりやすい指標ですが、大切なのは大学ではなく、どう生きるかです。合格が人生の目標ではありません。卒業してから、どう頑張るかが大切なのです。今の教育は画一



## 矢部駅近く「創己ゼミ」運営 個性合わせ指導 やる気引き出す

有創己  
代表取締役

山口 博久さん

みようと頑張ります」

「自立させることに重点を置いています。」

「答えを与えるだけの授業をしていたら、考える習慣が身に付きません。答えが見つからなかったら、ヒントを示します。そして一問解けたら、なぜ解けたかを聞きます。人に説明できれば理解できているか分かるからです。大切なのは「自分で勉強できる力」を付けることです」

「今後の目標は。」

「当ゼミのやり方は、従来の学習塾とは異なり、新しいスタイルといえます。できれば、都道府県に1校ずつあっても良いと思います。自信を無くした生徒たちが、再び自信を持てるようになる場所として、全国に広まってほしいですね」

的な物差しでしか見えていません。本当はさまざまな才能があったとしても、そこから外れるとすぐに問題視されます。これでは人が育ちません。むしろオープンスペースで話しながら「間違えてもいいよ」「たくさん間違えな」と言うと、もう一回やって